クリニカルラダー　委員会研修　一覧表

段階	研修名	関連委員会	研修目的	研修内容
Step1	新人対象感染対策研修 PART　1	感染管理委員会	標準予防策を理解し、マニュアルに沿った実践ができる	*標準予防策について 1．手指衛生 2．個人防護具の着脱方法 3．針刺し防止策 4．医療廃棄物の管理 5．呼吸器衛生／咳エチケット ・手洗いの実習(ブラックライトを使用して洗い残しのチェック) ・個人防護具の着脱(実習) ＊感染経路別予防策について 1．空気感染予防策 2．飛沫感染予防策 3．接触感染予防策
	新人対象感染対策フォローアップ研修		標準予防策・経路別予防策について復習し知識と実践力の定着化が図れる	＊標準予防策 1．手指衛生(正しい手洗いの方法・洗い残しのある部分) 2．個人防護具の着脱方法 ＊経路別予防策 (空気感染予防策・飛沫感染予防策、接触感染予防策) グループワーク
	医療安全研修会Ⅰ PART　1	医療安全委員会	医療安全に対する意識を高め安全な医療、看護を提供する	1．安全な医療とは・・・ 2．臨床現場とヒューマンエラー 3．医療独自の危険性 4．安全なシステム構築
			インシデント・アクシデントの報告の必要性が理解できる	1．報告の基本的な考え方 2．レポートの書き方
			「リスク感性」を磨く	1．医療の現場よりKYTを行う
			的確な報告・連絡・相談を理解する	1．看護に欠かせない報・連・相
	医療安全研修会Ⅰ PART　2		夜勤に向けて 臨床現場での多重課題下で優先順位を選択し安全なケアを提供できる	1．昼と夜の違いとは・・・ 2．DVDを見て優先順位を話しあう(GW)
	医療安全研修会 PART　2 フォローアップ		シュミレーションを通して行動する	1、模擬患者を設定し、切迫時の対応を行う
	倫理研修第1段階	看護倫理委員会	看護における倫理の必要性を理解する	・倫理における言葉の理解や定義について ・倫理と法律の違い ・看護者の倫理綱領とは ・事例検討を通して看護者の倫理綱領を理解する(グループワーク)
	退院支援Ⅰ	退院支援委員会	退院支援の必要性と退院支援マニュアルが理解でき、情報を収集・整理することができる	・退院支援の必要性について ・介護保険について ・退院支援マニュアルの使用方法について
	スキンケアⅠ	スキンケア委員会	褥瘡のリスクアセスメント・ケア計画ができ、褥瘡予防のためのケアが実施できる	・褥瘡に関する診療報酬について ・褥瘡のリスクアセスメントの方法 ・褥瘡ケア計画とケアの実際、「体圧分散」「摩擦とずれ」「失禁・湿潤対策」「栄養の整え」について
	スキンケアⅡ		スキンケアの基本的な知識と技術を学ぶ	・皮膚の解剖・生理 ・皮膚の清潔方法 臨床でみられるスキントラブルとケア(テープによるスキントラブル・失禁・浮腫・脆弱な皮膚・クリティカルな場合のトラブルとそのケア ・テープ貼付による体験学習
	ポジショニング		スキンケアⅠの研修で学んだ褥瘡ケアの知識を、体験学習を通して更に技術として身につける	・ポジショニングとずれに対するケア体験(体験学習) ・患者体験を通して安全・安楽な褥瘡ケアを学ぶ(体験学習)
	エンゼルメイク講習会	緩和ケア推進委員会	エンゼルメイクの方法・手技を学ぶ事ができ、グリーフケアの一貫であることを理解できる	・エンゼルケアの目的について ・エンゼルケアの手順について ・エンゼルケアの実践を見学
	エンゼルメイク			・エンゼルケアの実際を体験する
Step2	スキンケアⅢ	スキンケア委員会	褥瘡状態評価(DESIGN)が理解でき、褥瘡フローシートへの記録が的確にできる	・DESIGN-Rの項目とそれぞれの評価基準について ・褥瘡フローシートの記入方法を事例から学ぶ(体験学習)
	スキンケアⅣ		発生した褥瘡の局所的な治療(ケア)方法を知る	・褥瘡の治癒(深達度や感染の有無など状態別) ・創傷被覆剤の使用方法と使用上の注意 ・褥瘡ケアにまつわるトピック・最新情報などを紹介

段階	研修名	関連委員会	研修目的	研修内容
Step3	医療安全研修会Ⅱ	医療安全委員会	急変時、夜勤の報・連・相を学ぶ	1. 状況、背景、判断、提案を伝える 2. 事例を挙げGWする
	倫理研修第2段階	看護倫理委員会	倫理的な問題を理解する	・倫理的な問題とは ・倫理的な問題を事例検討を通して理解する（グループワーク） ・自ら感じた臨床での倫理的な問題を事例にあげ、検討する（グループワーク）
	緩和ケアⅠ	緩和ケア推進委員会	緩和ケアとは。緩和医療の中での看護師の役割について理解できる	・緩和ケアの理解 ・緩和ケアにおける看護師の役割とは
	緩和ケアⅡ		疼痛のアセスメント・マネジメントにおける看護師の役割を理解できる	・疼痛マネジメントの必要性と看護師の役割 ・痛みのメカニズムとアセスメント ・痛みの薬物療法
	緩和ケアⅢ		コミュニケーションとは。その重要性を明らかにすることができる。バッドニュースを伝える際の重要な要素を理解することができる	・コミュニケーション技法について ・バッドニュースの伝え方について
Step4	医療安全研修会Ⅲ	医療安全委員会	RCA分析を用い再発防止を図る	1. RCAとは 2. 事例を展開する（GW）
	倫理研修第3段階	看護倫理委員会	倫理的意志決定能力を養い、倫理的課題解決の中心的役割を果たすことができる	・倫理的ジレンマとは ・倫理的分析モデルとは ・倫理原則とは ・事例検討用紙の理解 ・事例検討を通して倫理的問題の解決策を見出す（グループワーク） ・自ら感じた臨床での倫理的な問題である事例をあげ、検討する（グループワーク） ・各部署で中心となり部署内の倫理的問題について事例検討を行う（部署でグループワーク）
	退院支援Ⅱ	退院支援委員会	退院支援の問題点に応じて、個別性をふまえた看護計画の立案から展開方法を事例から学ぶ	・事例報告 ・グループワークによる事例展開
	緩和ケアⅣ	緩和ケア推進委員会	各苦痛症状の原因を知り、症状をアセスメントを行い、症状予防もしくは軽減できる介入を学ぶことができる。	講義：①消化器症状②呼吸器症状③倦怠感④精神症状
	緩和ケアⅤ		喪失・悲嘆・死別とは。正常な悲嘆を促進するのに適切な介入方法を学ぶことができる	講義・ロールプレイ・グループワーク
	リーダーシップ研修	現任教育委員会	1. リーダーとしての役割を理解し、看護実践に活かすことができる 2. 自己を振り返り、これからの目標を明確にする	・組織とは ・リーダーとは ・リーダーシップとは ・リーダーシップ能力向上を目的としたグループワークや演習・ゲーム等
Step5	感染対策研修	感染管理委員会	感染防止対策の中心的役割を担い、モデルとなるための医療関連感染に関する知識・実践力を養う	・標準予防策について ・経路別予防策について ・職業感染防止（結核・針刺し・切創）医療廃棄物について ・尿道留置カテーテル関連感染ついて ・血流感染について ・術後創部感染について ・人工呼吸器関連感染について
	退院支援Ⅲ	退院支援委員会	退院支援場面において患者・家族の指導ができ、必要時他の部門と調整方法を事例を通て学習する	・事例報告 ・グループワークによる事例展開
	実習指導者研修会	実習指導者委員会	実習指導者の指導力の向上を目指す 教員とのコミュニケーションを図り、実習が円滑に行なえるよう調整する力をつける	・指導に困った実習場面を事例として提示する ・ワークシートを用いてグループで問題点や、何をどのように指導すればよいのかを話し合う
	中堅研修	現任教育委員会	中堅看護職員がこれまでの自己の看護を振り返り、これからの自己キャリアアップのための足がかりとなる	・看護現場学とは ・自己のナラティブを用いて個人ワーク（振り返り）を行う ・自己の振り返りをグループでディスカッション
Step6	医療安全研修会Ⅳ	医療安全委員会	クライシスマネジメント時の初期対応の判断、実践ができる	1. 起こった時の初期対応とは・・・ 病棟責任者としての対応とは 2. 事例を検討する 院内マニュアルを利用する（GW） 院内自殺、院内暴力など
			コンフリクトマネジメントを学ぶ	1. コンフリクトを理解する 2. ロールプレイを交え事例を展開し解決策を具体化していく

H23.3.31